

令和 2 年 度 校 長 通 信

立志だより



～笑顔の登校 満足の下校～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 東江功子

研究授業第9号

9月16日(水)5校時に3年3組で山城江利香先生による国語の研究授業がありました。めあて：俳句の基本を活用して自分の経験や思いを俳句で伝えよう。



前時の振り返りを確認して、下五→中七→上五の俳句作成を各自で行って行きました。江利香先生が例題をいくつか掲げ、その句の心情を質問しながら発想を促して、生徒達もそれぞれの句の作成に一生懸命でした。俳句の特徴ともいえる「季語」を「歳時記」のプリントや教科書を参考に取り入れて、身近な題材や日頃の生活の中で目にしたり、感じたりしていることを俳句に置き換えて表現していました。「難しそう」というイメージのある俳句ですが、作成の手順を「心情チャート」で理解しながら一人ひとりが発想豊かに俳句作りに挑戦してとても楽しい授業でした。



参観した先生方より

- 色分けしたカードの工夫が良かった。
- 机間指導しながら、生徒への賞賛や助言、評価を的確に行っていた。

生徒作品より

- ★春隣 思い出つまった 君の声 (陽菜さん)
(テーマ：3月に聞く友達の声)
- ★春眠し クラスの拍手 六校時 (玲凜さん)
(テーマ：授業中ぼーっとしている時 (春))
- ★夏の空 目をうばわれた 水面鏡 (真さん)
(テーマ：二つの夕陽)

上記3点紹介しましたが、それぞれの作品に込められた心情がよく感じられる俳句ですね。現在、国語の授業での生徒達の作品は、12月の総合文化発表会で展示されるとお思いますので、楽しみにしてください！

※個人的にお気に入りの作品はこちらです。↓
★登校時 校長スマイル 月下美人 (宗之介さん)

なぎなたの授業



与那原町の武道として根付いている「なぎなた」を今年度、3年女子が体育の授業「武道」

の単元で取り入れて実施しています。

担当の外間龍先生が、ビデオ教材等で本校のなぎなた部の生徒を活用して取り組んできましたが、9月16日(水)の5、6校時になぎなたの外部コーチである笠原先生が来校して授業を見ていただき、指導・助言などもいただきました。



2学年フロアから



2学年のフロアに上がると各学級の目標とする言葉の一文字があります。夏休み明け、コロナ禍の中でも頑張ろうとする生徒達の意気込みを感じます！